

2014-15 年冬期の新潟県中越地区での雪崩発生事例

○町田敬¹⁾, 町田誠¹⁾, 岩崎剛¹⁾, 松井富栄¹⁾

1) 町田建設 (株)

1. 発生状況について

表 1 に 2014 年から 15 年冬期 (以下, 今冬とする) に観測された新潟県中越地区での流下延長 100m 以上の規模の大きかった雪崩事例を示す.

今冬の降雪は, 12 月上旬の気温が高い時期の降雪が大量に積もり, そのまま根雪となった. また, 厳冬期の 1 月には降雨が観測されており, 積雪底面部には多くの脆弱な濡れざらめ雪層が確認されていた.

表 1 2014-15 年冬期の大規模雪崩事例

No	地名	発生年月日	雪崩種類	発生区標高	流下延長
1	十日町市 津沢	2014 年 12 月 26 日	面発生湿雪 全層雪崩	480m	170m
2	十日町市 中立山	2015 年 1 月 19 日	面発生湿雪 全層雪崩	630m	260m
3	南魚沼市 市野江	2015 年 1 月 16 日	面発生湿雪 全層雪崩	390m	160m
4	湯沢町 土樽	2015 年 2 月 15~16 日	面発生乾雪 表層雪崩	1020m	960m
5	湯沢町 神立	2015 年 2 月 16 日	面発生湿雪 全層雪崩	660m	580m
6	魚沼市 今泉	2015 年 2 月 17 日	面発生湿雪 全層雪崩	180m	120m

※数値は GoogleEarth にて計測

2. 全層雪崩の発生状況について

沢地形を流下した No.1,2,3,5 の事例では, 沢部の積雪を 3m 程度削り込みながら流下しており, 沢出口から水平方向に広がったデブリ形状となっていた. また, 沢地形を流下したデブリは削り込んだ溝の下流に堆積した形状であり, 2 次発生を阻止する雪堤のような形状となっていた.

また, No.6 の事例では, 発生直前に空中からの調査が実施されておいたが, 顕著な前兆が見受けられない状態から数時間で発生に至った.

3. 表層雪崩の発生状況について

No.4 の表層雪崩の事例においては, 杵組減勢工に雪崩が流入し, 阻止されていた. 杵組減勢工への衝突事例は少ないため, 追跡調査等を実施している.

4. まとめ

今後の雪崩防災に寄与できるよう, 降積雪状況を含め, 既往履歴の取りまとめを今後進めていく方針である.



写真1 No.1 の雪崩発生状況



写真2. No.2 の雪崩発生状況 (飯塚建設(株)提供)



写真3. No.3 の雪崩発生状況



写真4. No.4 の雪崩発生状況